

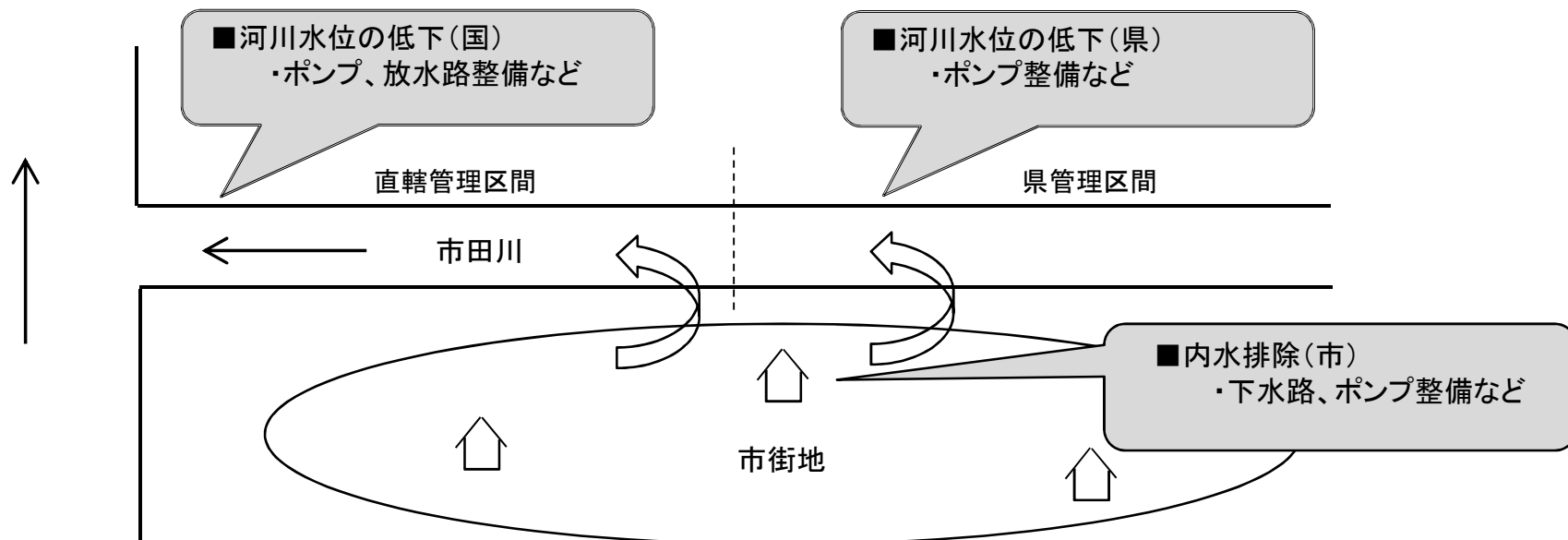
市田川大規模内水対策部会の進め方

紀南河川国道事務所
平成30年1月22日

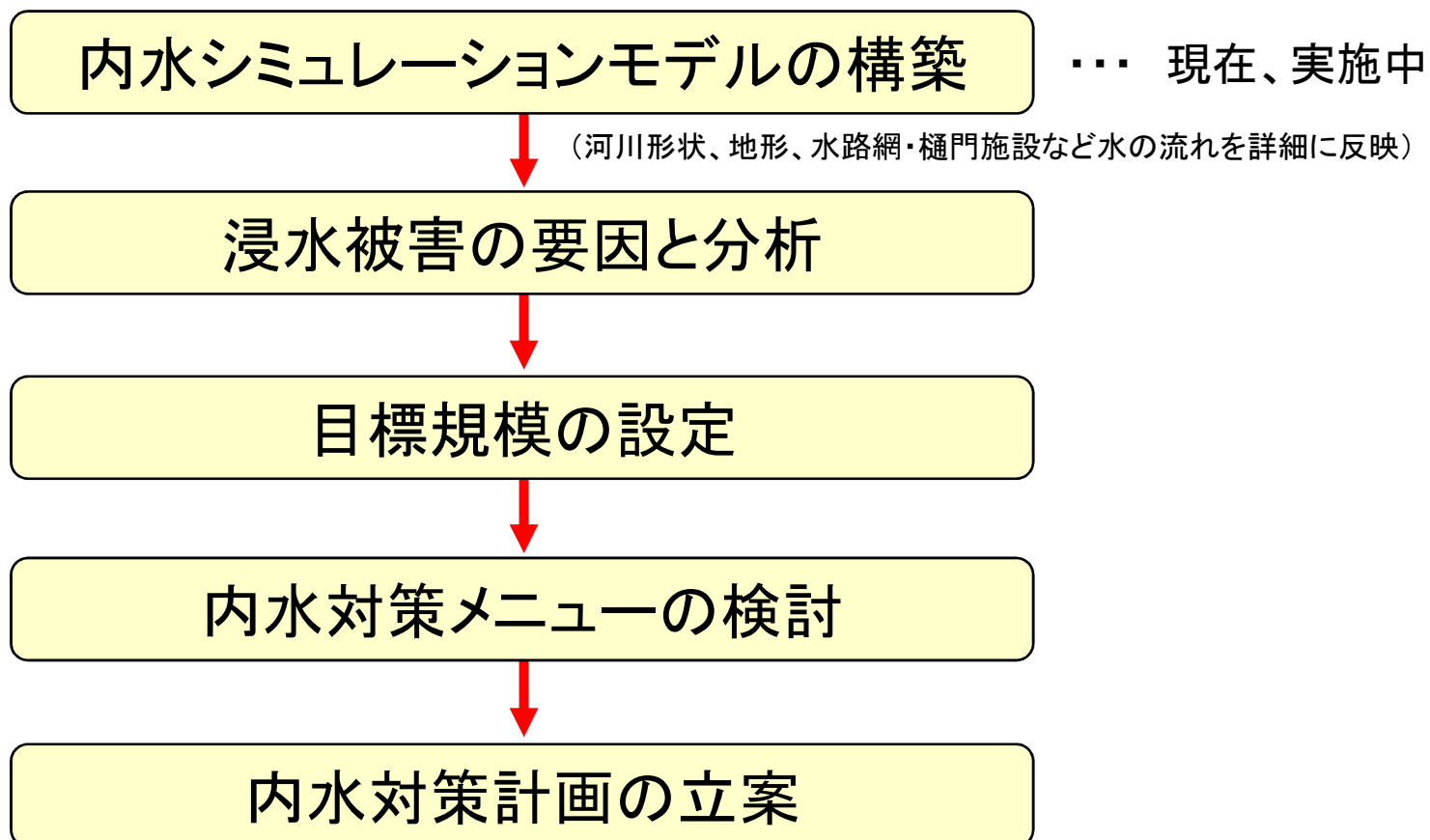
内水対策計画の立案

- 今回の出水は、新宮市内において観測史上最大となる記録的な豪雨となったこと、市田川が計画高水位を上回る高い水位となったことが特徴。
- 内水被害軽減のためには、直轄区間の市田川の水位低下だけでなく、その上流河川及び市街地の下水とが一体となった総合的な対策が必要となるため、国・県・市が連携して内水対策計画を立案する。

内水対策のイメージ

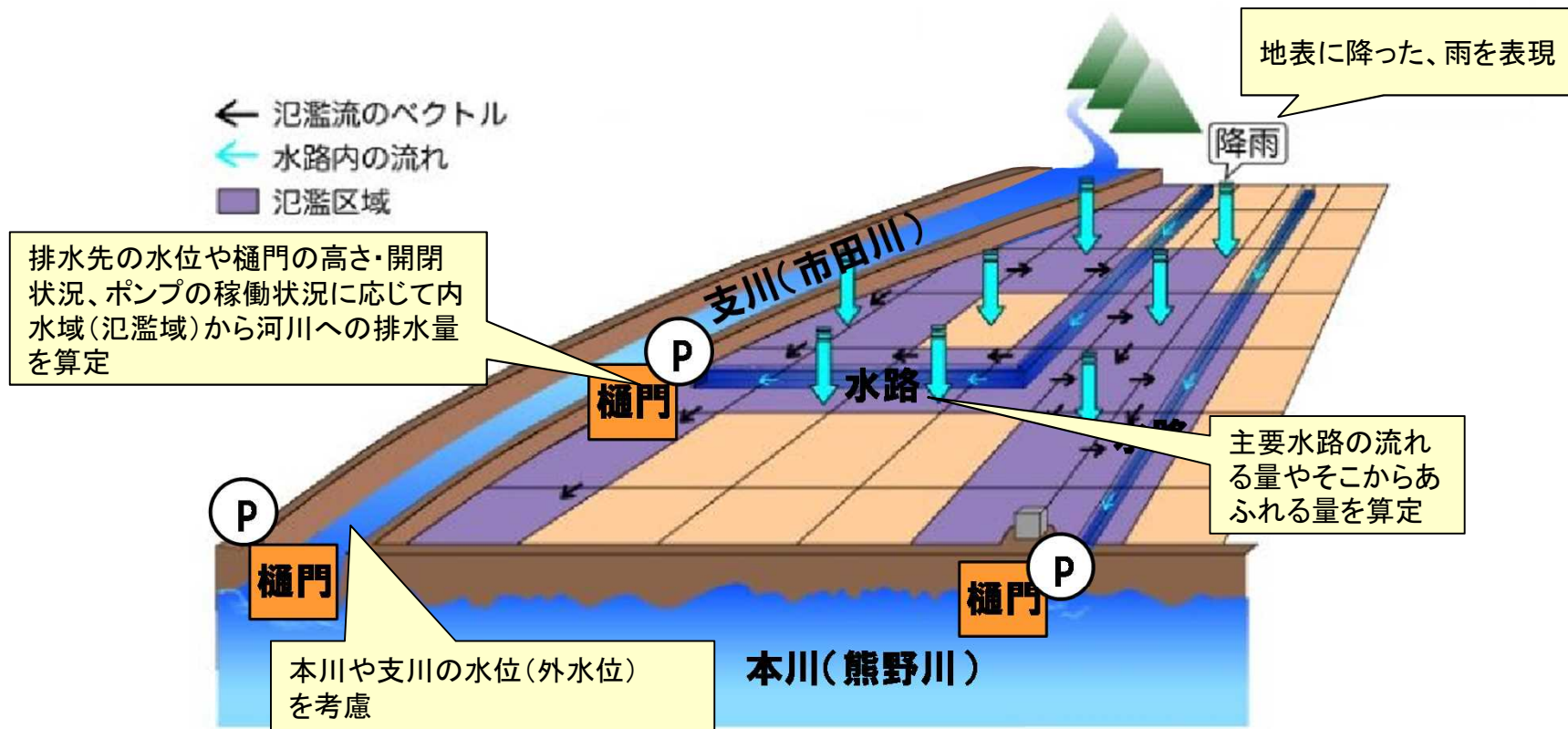


内水対策計画立案の進め方



内水シミュレーションについて

- 内水現象をできる限り正確に再現するために、内水区域の地形や河川に注ぐ水路形態・樋門の開閉・ポンプの稼働状況などのモデル化を行い、浸水状況を解析します。



内水解析シミュレーションモデルの概念図

内水対策の進め方

- 今回の出水に対し市田川の水位を低下させるためには、出水規模相当のポンプや放水路など大規模対策が必要。計画立案にあたっては、短期・中長期的な目標設定について検討を行う。
- 事業化にあたっては各機関において事業計画への位置づけを行うとともに、事業計画策定までの間、応急的な対策について検討・実施を行う。

